

# 紫 糸 甘

〈題字〉故 花田 衛先生

2021年9月15日 第31号



発行  
熊本学園大学付属中学・  
高等学校 同窓会 紫紺会  
編集  
紫紺会広報・情報委員会

〈紫紺会事務局〉  
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1  
熊本学園大学付属高等学校内  
〈事務局室別館〉  
〒862-0971 熊本市中央区大江2-1-71  
スポーツクラブ&スパ  
ルネサンス 熊本学園大通24 1F  
TEL・FAX 096-371-9333  
(事務局用電話) 090-4817-9333  
(平日9:00~17:00)  
<http://shikonkai.com/>  
[shikonkai@outlook.com](mailto:shikonkai@outlook.com)  
紫紺会公式 Facebook、Instagramも  
ご覧下さい！



## Contents

新旧同窓会長対談	2~3
学校長あいさつ・中高活動報告	4
2021年度入試合格者数	5
令和2年度総会報告・終身会費制の導入・ 同窓会支援制度・未来応援基金	6~7
令和3年度紫紺会役員・代表幹事一覧	8
紫紺会入会式・紫紺会青年部委員会・ 紫紺経済同友会活動報告	9
現役生部活動報告	10~11
コロナ禍で振り返る紫紺会の一年・ 事務局室別館について	11
卒業生紹介	12~13
坂本哲志氏大臣就任・ 60周年記念事業決算報告	14
藤崎八幡宮秋季例大祭	15
令和3年度収支予算案・ 事業計画・会費納入のお願い	16

# 剛 英 知 気 品 知



# 次世代見据えた同窓会運営へ 同窓生の「つながり」を広げたい



## 新旧同窓会長対談

同窓会報「紫紺」では、例年であれば新会長の挨拶を紹介しているが、今回の第31号は事業年度の変更に伴う会報誌発行時期の変更を受け、「新旧紫紺会長に何う」と題して、特別対談を実施した。本対談では長野前会長の2年間と木村新会長の新任挨拶を交えたインタビュー形式で、両者に同窓会への思いを語ってもらいながらコロナ禍における紫紺会事業の検証を行っていく。（7月2日＝紫紺会事務局室別館、インタビューは宮村勇一郎広報・情報委員会委員長（23期））

—まずは長野前会長に2年間の会長職を終えた今の心境からお聞かせ下さい。

**長野** 皆さんこんにちは。会長の在任期間は本来、1期2年ですが、期の変更で1月～12月が4月～3月になり、その分期間が伸びたことから約2年半にわたって務めさせていただきました。

従来であれば、1月開催の新春大同窓会からスタートし、年間を通じてさまざまな事業活動があり、3月締めめの6月に総会開催という流れになりますが、正直、私の感覚的には1期半務めたという感じです。その間を振り返ると、任期中は検証・検討の連続で、皆さんもご存知の高校創立60周年記念事業、そして、その後の新型コロナウイルス感染症拡大は紫紺会活動へ大きな影響を与えました。何をすることも毎回話し合いをしながら、「やっぱりこれは無理だな、これは今は出来ないな」という状況が続きかったので、期の変更に伴い、もう1期務めて、思いきりやった方がいいのではというご意見もありました。ただ、役員の方々が話し合いをする中で「新会長に引き継ぐ良いタイミングが来たのではないか」という思いに至り、今回の交代になりました。

今振り返ると、任期の半分以上はコロナ禍だったのですが、時代の流れに合わせたオンラインによる初の役員会議、また広い会場で代表幹事会を一度開くことも出来ました。（さらには60周年事業を通して、約200人の新規会員につながった）ことなど、少しずつですが活動の成果が出来てきたと思いますので、状況に応じて変化しながら今後の同窓会活動をしっかりと考えていける頼もしい布陣で、木村会長に引き継ぐことが

きるというのが実感です。

—では木村新会長に本年にかける抱負をお願いいたします。

**木村** まずは長野前会長、大変ご苦労さまでした。私はこの2年半、副会長として横で見ている、コロナ禍で本当は心残りだろうなという感じがしています。ただ、長野前会長は新しいことに、そしてこれからの紫紺会にとってより良い取り組みになるさまざまなチャレンジをされました。新会長としての一番の役割は、長野前会長が実践、そしてチャレンジされたことを今度は具体的に形にし、理解を深めつつ、浸透させていくことです。

私の任期中の2年間では、日常で知り合った同窓生同士の「つながり」を会の中でさらにつなげ、そしてどれだけ広げられるか、また疎外感を持っている同窓生がいない環境にするにはどうすればいいか、さらには紫紺会を応援したいが、どう応援すればいいかわからない同窓生をいかに掘り起こすか、それらの目標を具体的に達成していきたいと考えています。

## 木村 光男会長（16期）



―次に2年間の会長職経験から本会の現状と今後の問題点をお聞かせください。

**長野** 同窓会は何のために存在しているのか、また会に参加して「つながり」を構築することが同窓生にどんなメリットがあるかを伝えていくことが、コロナ禍だからこそ、以前にも増して大事だと思っています。そういった観点から考えると、会の現状を若者男女の同窓生に情報発信していくためには、会報誌をはじめホームページやフェイスブック・インスタグラムといったSNSの存在価値が大事だと思います。

また、本会における長年の懸案事項だった終身会費制の導入と決算期の変更を実施することができましたが、この2つは本会にとって大変、大きな改革だと捉えています。年会費に関しては、終身会費にしてほしいという要望が一期期の先輩方を中心にありましたので、「しっかりと対応していきます」と返答し、導入に向けて準備を進めていきました。ただ、実際に徴収していくのはこれからで、いま会費を納入いただいている方々の大部分が終身会費になりますので、今後は先ほど申し上げた同窓生同士の「つながり」

がどういった形で、お互いのプラスにつながるかという本会の意義を会報誌などを活用しながら発信し、幅広い世代から会費を納入していただく体制づくりを構築していくことが大きな課題だと思っています。また、卒業生は今や60期となる中、OBの会費納入率は依然、伸び悩んでいますので、より魅力ある会を目指し、若手や女性メンバーの同窓会に対する積極参加に目を向けた事業運営の検討が必要と考えています。

―では、長野前会長からの課題を受け、今後2年間紫紺会をどのように運営されていくのか、この点について木村会長のお考えをお聞かせください。

**木村** つながり、あるいは絆に至る大義の部分をどう構築していくかに尽きると思います。実務的には長野前会長が今おっしゃった、終身会費制の導入を財務委員会と連携しながら円滑に進めていくことが第一です。その他にも事業活動や広報・情報、青年部委員会にも各委員会における任務を全うしていただけるよう、会長としてバックアップしていきたくと考えています。また、活発な活動をされている紫紺経済同友会には本会のさまざまな事業に対し、これまで以上に応援していただければ幸いに存じます。ただ、同窓会全体で「さあ、やるぞ!」という掛け声がどんな組織でも大変重要になりますので、会長として同窓会の大義名分をしっかりと会全体に伝達していくことが一番の責務だと考えています。

一方で、同窓会は親睦団体、ボランティア団体、応援団体などいくつかの捉え方がありますが、その中でも応援団体という位置

付けをより明確にしていきたいと考えています。「何とかして紫紺会を応援していかねければ」という所以をもっと、役員の方々も時間をかけて議論していく必要があると思いますし、同窓生の皆さまにも考えていただきたい部分です。この点は大変難しい内容ではありますが、歴代の同窓会長も会の存在意義やいかにして会を盛り上げていくかということ、常に課題だったと思いますので紫紺会内での連携はもちろん、学校および紫紺会におけるビジョンの歩調を合わせ、まとまった方向性を一緒に描いていくことも必要ではないでしょうか。

―学園と紫紺会が連携していくためには何が必要でしょうか。

**木村** 本会は県庁や市役所、県警などに勤務している方々がそれぞれで職域支部を作られていますので、ぜひ、学校法人熊本学園に勤務する同窓生たちで「学園紫紺会」を発足していただければと考えています。そうすれば、連携はより深まっていくのではないのでしょうか。また、学園関係の同窓生の方々には、今まで以上に紫紺会を応援していただければ幸いです。

―最後に長野前会長から木村会長、また木村会長から長野前会長へ声援（エール）をお願いいたします。

**長野** 木村会長はこれまで副会長として長年、紫紺会の運営に携わってこられましたので、脈々と受け継がれてきた会の歴史を次の時代へ受け継いでいただき、しっかりと活動の幅を広げながら会をさらに盛り上げていって

ほしいと思います。私も引き続き、微力ながら応援していきますので、頑張ってください!

**木村** 2年間、お疲れ様でした。会長職がイグスタートしてみると、困難なことばかりだと思いましたが、継続していくための組織づくりの推進は長野前会長とこれまでやってきたつもりです。その中で感じていることは、次期同窓会長は直前の副会長経験者に務めていただきたいですし、各委員会の次期委員長は、直前から副委員長で在籍していただくことをお願いしたいと思います。そして、委員長も退任後は指導役として残って下さい。そうやって、途切れることなく連続とした活動が続いていけば、紫紺会の輪や運営のノウハウ、アイデンティティは広がり、蓄積していきますので、そういった組織体制の構築を目指し、次世代を見据えて会を運営する上での調整役を担っていくことも会長としての役割だと考えています。

―本日はありがとうございました。



7月2日に紫紺会事務局室別館で開いた新旧同窓会長対談。左はインタビューの宮村勇一郎広報・情報委員長

長野 英子前会長 (15期)

## 生徒第一主義の教育の展開に向けて

熊本学園大学付属中学・高等学校 校長 伊藤 良高

紫紺会の皆様におかれましては、平素より本校同窓会の活動・運営にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。学校を代表して、厚くお礼を申し上げます。また、一昨年来の新型コロナウイルスによる感染症拡大防止のため、紫紺会の皆様におかれましても、生活に多大な影響が引き続いて出ていることをお見舞い申し上げます。

校長の伊藤良高（\*）です。本年4月より、付属高等学校・中学校の学校長を拝命いたしております。80年に及ぶ歴史ある法人設置校の教育・運営の責任者として、微力ながら、その重責を果たすべく、力量豊かな教職員とともに日々奮闘いたしております。

さて、近年における「Society 5.0」が前提とするサイバー空間の急速な拡大による社会の構造的変化と新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、ポストコロナ社会における教育について、国レベルで、リアルな世界としての子どもと教育と福祉の統一の重要性やオンライン教育・リモート学習の展開などを踏まえた教育制度の見直し、意欲的に教育の改善に取り組み教師、校長、学校を支える教育行政のあり方などが議論されてきています。

本校におきましても、本年2月に策定された「学校法人熊本学園第2次中期経営計画」を踏まえ、今後5年間に掲げる目標として、「生徒の誓いに基づく令和の時代における特色ある教育の展開」、「入学生を安定的に確保し、質の高い教育を実現するための学校運営」の2つを掲げ、そのために、具体的に、高校では、①生徒及び教員の評価システムを構築



し、教育内容及び教育方法の充実、ICT教育環境の向上をはかる、②人間力を高める深学科プログラムの発展と効果の検証に取り組むことを、また、中学では、①深学科プログラムのさらなる発展と拡がりを検討する、②6年間を通して学力の充実を目指す「2+3+1プログラム」の振り返り、点検、改善に取り組んでいくことを示しています。生徒第一主義の教育の展開に向け、教職員一丸となつて、入学後におけるスムーズな学校生活の移行のための行事の充実をはじめ、一人一人の生徒の進路・進学保障ができるカリキュラムの作成、地域の産業界や卒業生と連携したキャリア教育の実施などに努めていきたいと考えております。

熊本県内外における私学の中軸として、さらに教育、運営、地域貢献の充実に取り組みでまいりますので、どうぞ今後ともよろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。紫紺会の皆様には、大変お世話になります。

\*熊本学園大学社会福祉学部教授。桜山保育園理事・副園長、博士（教育学）。

## 中高活動報告

令和2年度は、始まりからコロナ感染予防のための休校で学校活動が行えませんでした。が、本年度は休校もなく、制限されることは多くありますが、その中でも感染予防対策をしつかりと行い、現在のところ学校行事も行ってまいります。

令和3年度の在校生は中学校224名、高校1233名、学級数は中学校8（1年3、2年3、3年2）、高校32（1年11、2年10、3年11）です。男女比は中学校が4対6、高校がほぼ半々です。

大学入試では、国公立大学に153名（うち現役生は120名）、私立大学に延べ559名が合格しました。主な合格大学は、国立では熊本大48名、熊本県立大28名、鹿児島大11名、佐賀大8名、九州大7名、福岡教育大5名、長崎大4名、九州工業大、大分大、各3名、お茶の水大、筑波大、山口大、各2名、千葉大、東京外語大、東京工業大、福井大、名古屋大、滋賀大、京都大、京都工芸繊維大、大阪大、大阪教育大、奈良教育大、広島大、香川大、愛媛大、宮崎大、各1名などでした。また、私立大学では、熊本学園大100名、福岡大49名、崇城大46名、近畿大、西南学院大、各30名、熊本保健科学大27名、立命館大25名、関西大11名、関西学院大、九州産業大、各10名、東海大、法政大、各9名、東京農業大、九州ルーテル学院大、各8名、関西外国語大7名、青山学院大、中央大、帝京大、日本大、立教大、同志社大、久留米大、各6名、上智大、専修大、中京大、大阪経済大、各5名、国際医療福祉大、慶應義塾大、駒澤大、東京女子大、東京理科大、

東洋大、明治学院大、龍谷大、久留米工業大、九州看護福祉大、各4名などでした。

部活動においては、5月末に開催された県高校総体で、ボート男子ダブルスカル、男女シングルスカル、女子テニス、体操男子団体・個人、女子種目別跳馬、バドミントン男子ダブルス、陸上男子800mで優勝。県高校総文祭では囲碁男子個人で優勝しました。

また熊本市中体連では、空手道で、1・2年男女組み手で男女1名ずつがベスト8、バドミントンで女子シングルス第4位でした。

高校、中学ともにコロナ禍で練習が制限される中、可能な限り練習に時間を割き、集中して取り組んでくれました。

施設面では、国が提唱するソサイエティ5・0や文科省のギガ・スクール構想に備えたものとして、一人1台のパソコンの導入を初めとして、本年度から始まった熊本学園中期経営計画に則りハードとソフトの両面から、ますます施設の整備と教育環境を整え、生徒の学校生活がより充実したものとなりますように取り組んでいきます。

中学校は、昨年で10周年を迎えました。本来であれば、記念式典を行う予定でしたが、延期となり本年度の10月に行う予定です。本年度は、感染対策を行いながら、中学校の主な行事を行っております。式典も無事開催できればと思っております。

紫紺会の皆様には、いつも物心両面においてお気遣いをいただき感謝申し上げます。皆様の期待に応えるべく、中高ともに生徒は励んでおります。このご報告が、皆様の心の励みとなりますことを祈念いたしております。

# 2021年度入試 合格者数

国立大学	現役	過卒	計
熊本大学	36	12	48
鹿児島大学	8	3	11
佐賀大学	6	2	8
九州大学	5	2	7
福岡教育大学	4	1	5
長崎大学	3	1	4
九州工業大学	3		3
大分大学	3		3
筑波大学	1	1	2
お茶の水女子大学	2		2
山口大学	1	1	2
千葉大学	1		1
東京外語大学		1	1
東京工業大学		1	1
福井大学		1	1
名古屋大学	1		1
滋賀大学	1		1
京都大学		1	1
京都工芸繊維大学	1		1
大阪大学		1	1
大阪教育大学	1		1
奈良教育大学	1		1
広島大学	1		1
香川大学	1		1
愛媛大学	1		1
宮崎大学		1	1
防衛大学	2	3	5
水産大学	3		3

公立大学	現役	過卒	計
熊本県立大学	26	2	28
北九州市立大学	4		4
長崎県立大学	1	2	3
宮城大学	1		1
高崎経済大学	1		1
東京都立大学	1		1
広島市立大学	1		1
県立広島大学	1		1
下関市立大学	1		1
山口東京理科大学	1		1
福岡県立大学	1		1

私立大学	現役	過卒	計
早稲田大学	2		2
慶応大学	3	1	4
上智大学	5		5
東京理科大学	2	2	4
明治大学	1	2	3
青山学院大学	6		6
立教大学	6		6
中央大学	3	3	6
法政大学	8	1	9
学習院大学	1		1
関西学院大学	10		10
関西大学	11		11
同志社大学	6		6
立命館大学	14	11	25
熊本学園大学	99	1	100
福岡大学	32	17	49
崇城大学	30	16	46
近畿大学	14	16	30
西南学院大学	21	9	30
熊本保健科学大学	25	2	27
九州産業大学	7	3	10
東海大学	8	1	9
東京農業大学	6	2	8
九州ルーテル学院大学	7	1	8
関西外語大学	7		7
帝京大学	6		6
日本大学	3	3	6
久留米大学	6		6
専修大学	4	1	5
中京大学	5		5
大阪経済大学	5		5
国際医療福祉大学	3	1	4
駒澤大学	3	1	4
東京女子大学	4		4
東洋大学	4		4
明治学院大学	4		4
龍谷大学	4		4
久留米工業大学	3	1	4
九州看護福祉大学	3	1	4

国公官私立医薬系大学	現役	過卒	合計（一貫生）	
医学部医学科	1	3	4	2
薬学部薬学科	22	4	26	5

※上記大学は、国公立大学、早慶上理、GMARCH、関関同立  
及び合格者多数大学の順で掲載してあります。

その他多くの大学・専修学校等に合格されています。詳細をご覧になりたい方は、ぜひ本校ホームページよりご覧ください。

※国交官私立医薬系大学は全体数に含まれます。

# 導入・同窓会支援制度・未来応援基金

令和3年6月26日（土）に開催予定だった紫紺会 第28回通常総会はコロナ禍により中止を余儀なくされ、書面決議となりました。各期代表幹事・新旧役員・歴代会長の皆様115名に資料を送付し、71通の回答を得ました。結果は2名の白紙委任を含めて全員から全審議事項賛成を得ました。ご承認頂いた皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。審議事項はどれも重要項目ではありますが、報告事項も含めて紫紺会会員の皆様に特に承知して頂きたい3点をお伝えします。

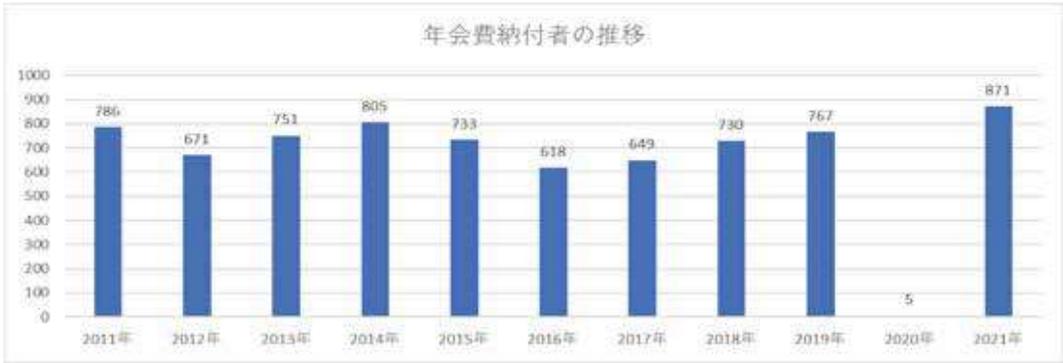
## 1. 終身会費制の導入について

終身会費制とは、満65歳以上の会員で終身会費を納入した会員は、翌年からの年会費納入を免除される制度のことで、終身会費を選択するのか、今まで通りの年会費納入を選択するのかは自由です。終身会費を選択しても会報誌「紫紺」は従来通りにお届けしますし、数々の紫紺会イベントへのお誘いや参加も今までと同様です。終身会費¥10,000を納入して頂ければ、翌年以後は年会費を納入する手間が無くなります。

実は、今までも幾度となく検討されてきた終身会費制ですが、これまで実現できていなかった大きな理由は終身会費制導入に伴う年会費の減少が懸念されるためだったと考えられます。昨年度の会費納付者を基に試算すると満65歳以上は1期～14期が対象となり合計329名で、全体納付額の37.9%を占めています。その全員が終身会費制を選択すると仮定すると、終身会費¥10,000の納付で、その年の収入は¥3,290,000の収入増となる反面、翌年以後は毎年¥987,000の収入減となり、経常収支が赤字になってしまう可能性があります。下図のグラフのように若い世代の納入率は低くなる傾向がある為、年を追うごとに赤字幅は大きくなる懸念があります。



会費収入減のリスクがあるにも関わらず終身会員制の導入に踏み切ったのは、これまで紫紺会を支えてきて頂いた先輩方への感謝の気持ちと、年会費納付者が増加傾向にあるためです。年会費納付者は2016年を底として毎年増加傾向にあり、昨年度は過去最高の納付者を記録しました（下図参照。2020年は決算期変更による3ヶ月決算）。これも会員の皆様の紫紺会活動へのご理解と会費納入アップの努力が少しずつ実を結んできたものと感謝申し上げます。これからも紫紺会活動を支えるために会費納入アップの活動を続け、以前にも増して経費削減にも努めていくことで終身会費制を実現していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。



# 令和2年度総会報告・終身会費制の

会終身会費は同封されている会費振込用紙で終身会費を選択し、郵便局またはコンビニにて振り込んで頂ければ完了です。翌年からは会費振込用紙は同封されません。本来は満65歳以上が終身会費制の対象ですが、会計への影響を平準化するため令和3年度は1～5期、令和4年度は6～10期、令和5年度は11～15期に分けて実施し、それ以後は順次実施することと致します。対象となりましたら、同封の年会費振込用紙に必要事項が印字されます。また、銀行引落で会費納入されている方で、終身会費を希望される方は紫紺会事務局までご連絡ください。

終身会費を選択すると会費納入は最後となります。同期の方々とお誘いあわせて納入下さい。

## 2. 同期会支援制度

新型コロナウイルスにより殆どのイベントが中止又は延期となりましたが、逆にこの災厄によって人と人との繋がりの大切さについて実感させられた気がします。ワクチンや特效薬の開発によって新型コロナウイルスに打ち勝つ日は、そう遠くないことと思いますし、その時のための準備が今こそ必要です。その為には、同窓会活動の根幹とも言うべき同期会の活性化が鍵となります。高校時代という多感な3年間を共に過ごした仲間同士の集まりである同期会ですが、残念なことに開催されていない学年も多いと聞いています。同期会が開催されていない理由としては、発起人の不在、会場手配・開催通知の印刷及び発送等事務作業の煩雑さ、ハガキ代・郵送料・コピー代・紙代等の事務費用が嵩むことにあると考えられます。

今回の同期会開催支援制度は20歳、30歳、40歳、50歳の節目の同期会を周年同期会と呼び最高¥50,000の支援金に加え、開催通知のハガキ代・切手代の全額補助、紫紺会事務局のコピー機・印刷機の使用も許可し同期会開催の負担を軽減すると共に、住所録の提供や同期会開催のノウハウを提供する等、物心両面で支援をしていく制度です。これによって周年同期会が定例化し10年後の再開を約束すると同時に、翌年開催される後輩へのパトタッチを慣例化して欲しいと思います。それは、藤崎宮秋季例大祭の担当期が連綿と繋がってきたのと同じように、紫紺の鎖を繋げる息の長い制度になって貰えればと願うばかりです。

同期会の開催を予定している幹事の皆様は、紫紺会事務局までご連絡ください。詳しい内容をご説明させていただきます。コロナ後に、晴れやかな顔で集う同期会を開催しましょう！

## 3. 未来応援基金の創設

平成29年から開始されていた「現役学生支援金」は、創立60周年に学校側から創設された「紫紺の絆寄付金」と趣旨を同じくするため平成30年に休止しておりましたが、「紫紺の絆寄付金」制度の終了を契機に、名称も改め「未来応援基金」として再始動させることとなりました。集まった寄付金と従来から寄付させて頂いていた「部活動支援金」¥100,000を併せて学校に寄付を致します。「後輩を応援したい気持ちはあるけど、方法が分からない」、「終身会費制で年会費を払わなくなったら、学校との絆が切れてしまいそう」といった方々の声に応えるために、簡便に応援が出来るように会報誌「紫紺」に振込用紙を同封することに致しました。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

### <趣旨>

勉学において必要な機材・資材購入や部活動支援をはじめ、留学を検討している学生など未来へはばたく在校生に対するサポートの一助として、紫紺会会員に広く寄付を募る。

### <内容>

- ・会報誌「紫紺」に同封する振込用紙、または郵便振替による振込とする。
- ・寄付金額は一口 ¥5,000とする。
- ・「部活動支援金」¥100,000を併せて学校への寄付とする。
- ・活用方法は学校側と協議して決定し、活用結果を会報誌「紫紺」にて報告する。
- ・寄付をして頂いた方は会報誌「紫紺」に掲載する。

# 令和3年度 紫紺会役員

委員会等	役職	氏名	期
会長		木村 光男	16期
副会長		小田 勝也	19期
		寺本 光秀	22期
		三浦 勲	23期
		古閑 知子	26期
		内藤 千穂	29期
		奥村 誠基	33期
事務局	事務局次長	内藤 千穂	29期
	〃	河岸 義彦	30期
	〃	村田 護親	32期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	中村由紀子	34期
	参与	村上 康彦	15期
		平木 邦昭	14期
監事		馬原 隆	17期
		志垣伸太郎	30期
		浦上 和裕	16期
代表幹事会	代表幹事長	石本 敏明	9期
	副代表幹事長	藤本 勝幸	16期
	〃	田上 明裕	29期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	眞弓 知也	48期
	〃	眞弓 知也	48期
財務委員会	委員長	三浦 勲	23期
	副委員長	永松 豊	16期
	委員	白石 隆	24期
	〃	出先 教明	31期
	〃	高濱 知佳	32期
	〃	佐藤マリア	37期
	〃	馬原 隆	17期
	〃	馬原 隆	17期
広報・情報委員会	委員長	宮村勇一郎	23期
	副委員長	原田 佳英	35期
	〃	佐藤マリア	37期
	〃	大島 栄祐	40期
	委員	志水 和幸	18期
	〃	宮崎 常	39期
	〃	西本 弘美	40期
	参与	佐伯 昇治	13期

委員会等	役職	氏名	期
事業活動委員会	委員長	浅野 芳幸	33期
	副委員長	村上 雄一	33期
	〃	西牟田耕太郎	37期
	参与	桑原幸津江	25期
経済同友会	委員長	寺本 光秀	22期
	副委員長	西上 佳孝	25期
青年部委員会	委員長	嶋村拓二郎	41期
	副委員長	榎 崇文	40期
	〃	塚本 龍一	47期
	委員	道山 明香	42期
	〃	井上 慶一	46期
	〃	富田 修成	46期
	〃	永廣 一晃	39期
	〃	内田 雄也	37期
飾馬奉納実行委員会	委員長	宮本 祐樹	38期
	副委員長	渡邊 憲輔	39期
顧問		目黒 純一	
校長		伊藤 良高	
相談役		長野 英子	15期
名誉理事		奥村 拓司	1期
		大堂友一郎	1期
		内原 中	1期
		貝島 博信	1期
		黒木 繁紀	2期
		式森 耕吉	4期
		原武 博之	5期
		竹本 朝生	6期
		武末 博司	7期
		木下 顕	11期
		榎 主税	14期

## 紫紺会 代表幹事一覧

期	卒業年	名前									
1	S37	立川 恵之助	16	S52	浦上 和裕	31	H4	出先 教明	46	H19	井上 慶一
2	S38	今村 宏	17	S53	山下 慶一郎	32	H5	堤 泰之	47	H20	塚本 龍一
3	S39	井手 和洋	18	S54	志水 和幸	33	H6	池本 千寿	48	H21	眞弓 知也
4	S40	坂元 邦彦	19	S55	伊津野 浩	34	H7	植田 真功	49	H22	高橋 直人
5	S41	中園 直樹	20	S56	崎坂 浩行	35	H8	千々岩 慎吾	50	H23	上坂 萌子
6	S42	白野 国久	21	S57	中山 貴夫	36	H9	高松 大輔	51	H24	中野 翔梧
7	S43	前田 英治	22	S58	寺本 光秀	37	H10	内田 雄也	52	H25	上坂 暖子
8	S44	和田 信一	23	S59	川口 修	38	H11	山口 敦司	53	H26	小野 晃嗣
9	S45	上野 和徳	24	S60	白石 隆	39	H12	永廣 一晃	54	H27	長濱 美優
10	S46	本田 順治	25	S61	西上 佳孝	40	H13	久富 信夫	55	H28	宮崎 真吾
11	S47	伊瀬知 裕	26	S62	松岡 衣美	41	H14	渡邊 陽一	56	H29	井田 彩心
12	S48	臼杵 和孝	27	S63	鈴木 浩二	42	H15	豊田 隆志	57	H30	今村 拓詩
13	S49	佐伯 昇治	28	H1	水田 貴光	43	H16	矢田 琢磨	58	H31	村田 雅弥
14	S50	宮本 亘	29	H2	田上 明裕	44	H17	井手 誉大	59	R2	出口 貴太
15	S51	吉田 敏郎	30	H3	廣末 好信	45	H18	松下 翔	60	R3	小堀田 圭悟

# 熊本学園大学付属高等学校卒業式・紫紺会入会式

## 紫紺会第60期生入会式

令和3年3月3日、熊本学園大付属高校第60期生卒業式が執り行われました。本年も、コロナ禍の中の実施となり、卒業生と卒業生保護者、教職員、来賓の皆様での参加でした。本来ならば、前日の3月2日に入会式をさせていただき、これから卒業後は、紫紺会の会員として、いろいろな手助けやご案内をしていきます！というお話と、代表幹事・クラス幹事様の委嘱状交付式後、紫紺会会報誌を配布していただきました。

しかし、昨年に引き続き、コロナ禍による緊急事態宣言、まん延防止対策下のため、入会式は中止！昨年は校長先生がいさつの中に入れて頂きましたのと、本会からの文書でのご案内のみとなりました。

今年度は、母校の60周年を記念しましての「絆寄付金」として、各学年にパソコンを80台ずつ3年間にわたりお渡しできるように目標を立てて、寄付を募ってまいりました。その最終目標年度でありましたので、卒業式時に、150万円の寄付を紫紺会としてさせて頂くことになり、その場を設けて頂きました。

式次第終了後、生徒・保護者の皆様の前で、目録をお渡しし、「今までは学校の先生方の指導が力になっておられました。これからは、紫紺会がお手伝いさせていただきます。困った事や悩み事がありましたら、それぞれの地区に紫紺会の支部がありますのでどうぞ、おたずねください」と、ご挨拶を申し上げます。

各クラスの幹事様や代表幹事様には前もってクラスで、委嘱状をお渡ししておきましたので、今後、紫紺会の会員として、大学、職場、そして各同期会等で、つながりを感じていく事があるかと思えます。諸先輩方、どうぞ新入会員の皆様をよろしくお願ひ致します。2万2千人になろうとしている紫紺会、今後益々のつながりと発展を期待しております。

紫紺会前会長 長野英子



## 青年部委員会

青年部委員長

嶋村 拓二郎(41期)

紫紺会青年部は若手同窓生を中心とした委員会です。2020年度は新型コロナウイルスの影響で残念ながら活動はできませんでした。通常であれば毎年、ゴルフコンペや若手交流会を開催していましたが、2021年度も厳しい環境が続いています。

そんな中、昨年は5月31日に青年部委員のメンバーでリモート会議や飲み会を開き、今後における活動の話し合

## 紫紺経済同友会

経済同友会事務局

榎 崇文(40期)

令和2年度は、当会も、コロナ禍の影響を受け、活動を縮小せざるを得ませんでした。本会青年部と合同開催の若手会員交流会、五校経済同友会のスポーツ例会・合同例会等は、いずれも中止となりました。

総会・年祝い会は、第一波が落ち着いた令和2年8月27日に、万全の感染対策を講じて、松屋本館(25期・西上佳孝会員)で開催致しました。総会では、コロナ禍の影響も考慮し、年会費を半額にする等を決議し、年祝い会では、古希(10期)、還暦(18期)、厄晴れ(37期)の会員のお祝いを致しました。

いや近況について情報交換しました。久しぶりにメンバーと会話でき、楽しかったです。コロナが落ち着いた時には青年部主催の企画を立案し、また紫紺会を盛り上げていきたいと考えています。



また、在校生の隠れた善行を讃える奨励賞については、令和3年3月1日の紫紺会入会式の際に、清流の清掃活動を継続した柳亮太郎君(3年生)に贈呈致しました。

一日も早くコロナ禍が収束し、通常の会員交流ができる日が来ることを願っています。



## 現役生部活動報告

# コロナ禍でも元気に頑張る現役生部活動の紹介

このページでは、例年とは異なり現役生部活動紹介を掲載させていただきます。コロナ禍でOB会活動が自粛を余儀なくされる中、限られた時間、限られた空間で大会や発表会などへ向け一生懸命に頑張っている姿を紹介することで、OBの皆様にも元気を届けることができると考え、ご紹介いたします。

### サッカー



今年も新型コロナウイルスの影響で大会や遠征が中止になり悔しい思いをしましたが、それがマイナスにならないように日々の練習に取り組んでいます。僕たちは練習メニューを自分たちで考えたり、1人1つの係を担ってチーム運営を行うなど、選手主体で活動をしています。監督やコーチともお互いに分からないことや要求すべきことがあれば、話し合い解決しています。総体は3位に終わり、3年生の半数は活動を引退しましたが、残った3年生と1、2年生全員で、サッカーができることや周りの支えや応援に感謝して最後の選手権で優勝できるように頑張ります！

### 空手道



私たち空手道部は、河崎先生のご指導の下、高校生5人、中学生3人の計8人で活動しています。普段は形や組手の練習を、仲間とお互いに高め合いながら行っています。新型コロナウイルス感染防止のため、マスクを着用しての練習を余儀なくされていますが、息が乱れてきつことが多いです。しかし、そのような状況の中でも仲間と励まし合い、士気を高めて頑張っています。これからも、試合で最高のパフォーマンスができるように、仲間と共に日々の練習を大切に頑張っていきたいです。

### 囲碁



令和2年度全国高校選抜囲碁大会 男子団体第4位入賞

令和2年12月の九州大会にて、ラ・サールに敗れたものの準優勝で全国高校選抜大会への出場権を獲得し(実は前年度大会でも出場権を得ていたものの、新型コロナウイルス感染拡大により無念の大会中止)、廣末直大(現2年)本田祥太郎(現3年)吉田薫(現3年)のメンバーで、囲碁部としては相当久しぶりの全国大会に臨みました。結果は本人達もびっくり、顧問はもっとびっくりの全国第4位!素晴らしい集中力をを見せてくれました。上位3校はいずれも東大現役合格「数十名」という超進学校ばかり(ちなみにラ・サールが第5位)です。令和3年度も8月の全国総文祭と、同月の全国高校囲碁選手権への出場を既に決めており、健闘が期待されます。応援、どうぞよろしくお願いします。

### ボート



部員全員で「日本一」という高い目標を掲げ、日々その目標に近づく努力を続けています。まだまだ新型コロナウイルスの影響で活動が制限される状況ですが、今までの悔しい思いを晴らすべく、私たちにできることを1人1人が考え、恵まれた練習環境や多くの方々への応援や支えに感謝し、「日本一」という結果で恩返しができるよう頑張ります。

### 女子硬式テニス



私たち女子硬式テニス部は、県高校総体の団体戦で優勝しインターハイの出場権を勝ち取ることができました。また、個人戦でも入賞することができました。3年生にとっては最後となった今年度の総体が開催されて本当に良かったです。1年生・2年生にとっては初めての県総体を迎え、良い経験となりました。九州総体は残念ながら中止となってしまいましたが、インターハイに向けて、練習を頑張っていきます!!

### 体操



昨年は多くの大会が中止となり本当に残念でしたが、今年の県高校総体では男子団体と個人総合、女子種目別で優勝することができ、男子はインターハイ出場を決めました。また、男女とも部員から国体選手に選ばれ県代表としても活躍しています。中学生にも男女それぞれ県1位の部員がいるので、今後ますます頑張ります!

### 陸上

私は、小中と野球をしていましたが、肘の怪我で高校から陸上を始めました。最初の頃は部員の中でも一番遅かったのですが、みんなが陸上について教えてくれ、一緒に練習してくれたおかげで成長した結果、南九州大会の800mで優勝することができました。陸上の練習はきついですけど、頑張った分だけ結果がついてきます。全国大会では諦めない気持ちと絶対負けない気迫を大事にし、最後まで全力で走り抜きます。



### バドミントン

バドミントン部は、団体戦優勝という目標を立て、毎日の練習で高い意識を持ち頑張っています。県高校総体ではダブルスで優勝し、インターハイに出場します。新型コロナウイルスの影響がある中で、いろいろな面でたくさんの方々から支えられてきました。インターハイでは、感謝の気持ちを忘れず、支えていただいた方々に良い結果で恩返しができると思います。



## 吹奏楽

私たちは、主な感染症対策として人数を分けて合奏の練習を行ってきました。全員で合わせられない日々が続きましたが、新人コンクール金賞や総文祭出場という結果を得ることができ、より一層の団結力を感じることができました。まだまだこれからも制限されることは続きますが、夏のコンクールでの九州大会出場を目標に今やれることを精一杯練習しています。支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに良い音楽作りに励んでいきます。



## 放送

こんにちは、放送部です。主な活動は、発声練習やお昼の放送です。年に2回ある大会は昨年からCD審査となり、戸惑いもありましたがみんなで協力して参加することができました。今年度の抱負は昨年できなかった中学高校合同練習を計画中です。また、地元のラジオ番組からの出演依頼がありますので、積極的に活動したいです。



# コロナ禍で振り返る紫紺会の一年 (令和2年4月～令和3年3月)

最新ニュースは紫紺会のホームページやフェイスブックでご覧いただけます。



青年部委員会によるオンライン会議と懇親会  
(2020年5月31日)



紫紺経済同友会年祝いの会  
会員の古希や還暦などを祝う毎年恒例の「年祝いの会」  
(2020年8月27日)



紫紺会初のオンライン役員会  
(2020年12月9日)

## 事務局室別館について

今年度より新しく紫紺会事務局に事務所別館が出来ました。これまでの事務局室は高校内にそのままございますが、事務局機能を別館に移すこととなりました。各委員会での事務作業なども時間を問わず利用して頂けます。PC・コピー複合機なども完備していますので、ぜひ便利にご利用ください。別館所在地は熊本学園敷地に隣接する24時間稼働のスポーツジム建物内となります。別館の鍵は今年度事務局長の奥村が管理致しますので、お気軽にお問合せください。

また、今年度より常駐の事務局員は不在となりますので、事務局用の携帯電話を用意しています。事務局に御用の際は、この携帯電話にご連絡を頂きたいと思っております。準備が整い次第、紫紺会のHPにも掲示致します。



事務局長 奥村 誠基 (33期)



・事務局用電話 090-4817-9333  
・平日 9:00～17:00



## ～名刺広告掲載のご案内～

日頃より広報誌「紫紺」をご愛読いただき、ありがとうございます。木村会長、長野前会長の意向を受け、来年度発行号より本誌面に同窓生の名刺広告を掲載するよう、現在広報・情報委員会で協議を進めています。今後、名刺広告を掲載する際には、事前にご案内をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 紫紺ズームアップ



With  
コロナ

## ～各界で活躍する 同窓生たち!!～

### 歯科医師としての

### Restart

医療法人社団至福会 添島歯科医院  
歯科医師 添島 麻里 (25期)



私が高校を卒業して35年、初めて同窓会に参加させて頂き、懐かしい顔ぶれにお会いでき、楽しかった高校時代を思い出しました。

思い起こせば、私が歯科医になるきっかけを作ってくれたのは、高校3年の担任の先生の勧めでした。高校生活が楽しすぎてあまり勉強もせず、将来の進路に悩んでいた私に、歯科医師という選択肢を示して下さいました。今、私の私があると思います。

歯科医師になって29年、歯科医師の主人と結婚し、子育てに専念するために11年間仕事を離

れた時期もありました。仕事に復帰しようと思った時は長いブランクもあり、はたして戻って以前のように仕事ができるのだろうかと不安を感じ、随分悩みました。しかし、子供の成長とともに母親としてだけでなく、一人の「私」として生きてみたいと思ひ、仕事復帰を決めました。それと同時に自分がやりたいこと、自分にしかできないこととは何だろうと考えました。そして出した答えが、訪問歯科診療でした。きっかけは、父が脳梗塞で闘病中に歯が悪くなり、治療が必要になった際に、自宅に訪問して歯科治療を行う訪問歯科診療というシステムがあることを知ったことからでした。その時、歯科大学に通わせてくれた歯科医にしてくれた父の治療を、私がしてあげられなかったことが悔しくて、申し訳ないと思ったからです。

訪問歯科診療とは、要介護高齢者のお宅や施設、入院中の病院へ訪問して歯科診療を行う仕事です。高齢化が進む日本で、歯科的に問題を抱えているにも関わらず歯科受診が出来なくなっている高齢者の方々が多くいらっしゃいます。熊本でも、多職種連携が始まり、医科、歯科、介護職などそれぞれの専門職が患者さんの情報を共有することで、医療の効率化、質の向上を目指してチーム医療を進めています。

その訪問歯科診療を始めたころは、主人や添島歯科医院のスタッフの協力のもと、手探りで船出でした。当初は、なかなか患者さんが増えない時期もありました。そんな時でも、一人一人の患者さんに真摯に向き合い、その方に合った治療や口腔ケアを試行錯誤しながら行って





大切にしていることは、患者さんの願いや思いをくみ取り、その思いに少しでも近づくように治療を進めながら、できるだけ早く食事ができるお口づくりを行うことを目標にしています。

近年のコロナ禍では感染のリスクがあることから訪問診療をさせていただくのが難しくなった時期もありました。しかし、必要な歯科治療を受けないことから、口の中の状態が悪くなることは健康状態の低下の原因となります。食事をきちんと取れないと体力が衰えますし、摂食嚥下機能の低下により食物の飲み込みが悪くなると、誤嚥性肺炎を引き起こすことにつながり

ます。さらに嘔んで食事をしていないと、脳への血流が悪くなり、認知症のリスクも高まることから、身体にとって大きな問題です。これらのことを予防する意味においても、万全の感染対策をしながら施設や病院などと連携を図り、訪問歯科診療を続けることが大切だと感じています。

家庭と仕事の両立は大変なこと多いですが、子供たちから「仕事をしているママが好きだ」と言ってもらえることができ、勇気を持って仕事に復帰して良かったです。これからも、多くの困っている患者さんのものに出向き、一人でも多くの方に、食べる喜びを感じてもらえるように日々頑張っていきたいと思っています。



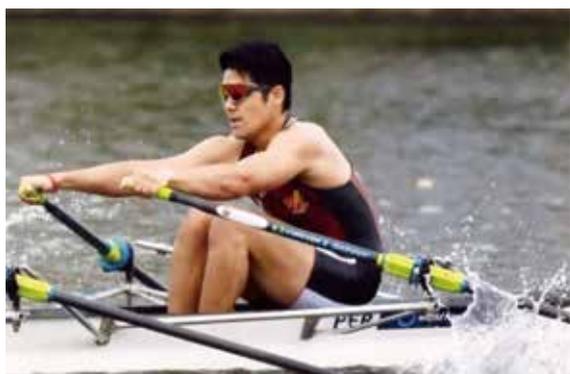
## 新入会者紹介

# 将来の夢を叶えるために全力で

遠矢 陸人 (60期)

熊本学園大学付属高校、第60期卒業生の遠矢陸人です。現在は早稲田大学で自己研鑽を積んでいます。高校時代を振り返ってみると、今でもつい先日のように鮮明に浮かぶ思い出の数々：「濃密な時間であったな」と、どこか照れ臭い気持ちになりました。懐かしい気持ちに浸りながらこの文章を書くこうと思います。

私は福岡から学付にやってき



て、たくさん初めての出会いがありました。先生方、クラスメイト、ボート部の仲間、寮生活と共にした友人達。彼らに何度救ってもらったことか……。くじけそうな時、投げ出しそうな時、いつも仲間がいました。高校時代、私は文武両道を目標にしていたのですが、テストの成績が振るわず、投げ出しそうになることもありました。そんな時、クラスメイトや寮生の勉強する姿を見て、鼓舞されました。負けるわけにはいかない、と。学付は「頑張れ」より、「一緒に頑張ろう」と言ってくれる仲間が多いなと思います。そんな素敵な仲間と出会えたおかげで、一人の人間として成長して、高校から羽ばたくことができたと自負しています。

そして私は、高校時代に痛感したことがあります。「当たり前はない」ということです。高校最後の年、新型コロナウイルス

スが蔓延し、約三か月、友達顔すら見えない日々を過ごしました。その間、紫雲祭がなくなり、総体がなくなりました。私は一回、一日に本気で臨む大切さも学びました。その一回、一日がまた次に同じようにやってくるとは限らないからです。大学になってもこの教訓は忘れず、日々精進しています。

大学では、高校時代に届かなかった日本一、そして自身の将来を実現するために努力しています。高校以上に大変なこともあります。高校以上に自分を支えているのは間違いなく高校での努力や経験です。これから幾度となく人生の壁にぶつかると思いますが、私には仲間が、先生方が、たくさん先輩方がついています。学付の卒業生であるという誇りと自覚を持って、自分の将来の夢を叶えるために全力を尽くします。そして、いつか誰かを支えられる、そんな存在になりたいです。



# 一億総活躍担当大臣 まち・ひと・しごと創生担当大臣 内閣府特命担当大臣(少子化対策、地方創生)

## 坂本哲志先輩、大臣就任おめでとうございます!



紫紺会8期卒業生の坂本哲志先輩は、熊本県議会議員を4期務められ、その後、平成15年に衆議院議員に当選、6期務められ、この度の令和2年9月の菅内閣におきまして、「一億総活躍担当、まち・ひと・しごと創生担当、内閣府特命担当大臣」(少子化対策、地方創生)に任命されておられます。熊本県からの大臣誕生は2006年9月以来となります。坂本先輩を支援する志士の会幹事会にてご挨拶をされました。コロナ禍では、直接お会いすることもなかなかできない状態がありますが、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

紫紺会前会長 長野 英子

## 60周年記念事業決算報告

60周年記念事業決算報告は、代表幹事会及び第27回通常総会(書面決議)にて既に承認済みではありますが、剰余金の処分案が第28回通常総会(書面決議)にて了承頂きましたので報告致します。

60周年記念事業としては、以下の通りです。

- (1) 記念祝賀会 (2) 記念グッズ制作 (3) 窓拭きボランティア (4) 記念誌発行

記念誌発行を除けば、2019年度中に決裁が済んでいます。記念誌発行は2020年度の年会費納入者までを郵送対象にしたため、2020年3月度決算まで経費が発生しています。決算資料はまとめた報告となります。

(1)の記念祝賀会は2019年9月26日にホテル日航熊本にて開催されました。平日だったにも関わらず483名の出席を頂き、久しぶりに再会する同窓生同士で旧交を温めたり、当時の恩師と賑やかに歓談する姿が各所で見られたりと、盛会でした。

(2)の記念グッズは青年部委員会で制作したピンバッチと祝賀会のDVDで、ピンバッチは当日に売切れとなり好評でした。

(3)窓拭きボランティアは「母校に愛を、教室に感謝を」というスローガンのもとに青年部委員会の若手を中心に30名ほどが集合して校舎の窓拭き活動を行った際の清掃用具代金を計上しています。

(4)記念誌は4,500部を発行し、1,770部の郵送を2019年1月中旬に終え、追加の207部を2020年12月中旬に終えることができました。支出もほぼ予算通りでしたが、広告収入が¥4,730,216と予想を遥かに上回ったおかげで、60周年記念事業決算も黒字で終えることができました。広告を寄せて頂いた有志の方々に、再度、お礼を申し上げます。

¥2,417,974の剰余金のうち¥1,500,000を学校の「紫紺の絆」寄付金に寄付させて頂き、残りの¥917,974を本会計に計上しました。

科 目	予算 (A)	決算 (B)	(A) - (B)
事業活動収支の部			
1.事業活動収入			
(1)祝賀会会費	4,000,000	4,830,000	-830,000
(2)記念誌広告収入	2,200,000	4,730,216	-2,530,216
(3)記念グッズ・DVD売上金		317,000	
(4)その他寄付金		50,000	
事業活動収入合計	6,200,000	9,927,216	-3,727,216
2.事業活動支出			
(1)祝賀会支出			
・祝賀会飲食費・お土産代等		4,291,740	
・祝賀会案内通信費		55,204	
・雑費		5,716	
祝賀会支出合計	4,000,000	4,352,660	-352,660
(2)記念誌			
・記念誌制作・印刷代		2,635,500	
・記念誌発送費用		318,936	
・記念誌広告案内通信費		17,856	
記念誌支出合計	3,000,000	2,968,829	31,171
(3)その他支出			
・ピンバッチ製作費		174,485	
・窓拭きボランティア用洗剤等		13,268	
その他支出合計		187,753	
事業活動支出合計	7,000,000	7,509,242	-321,489
事業活動収支差額	-800,000	2,417,974	-3,405,727

# 藤崎八幡宮秋季例大祭

## 移ろう季節、そして再び集う時まで

飾馬奉納紫紺会 総代 木村 賢正 (36期)



飾馬奉納紫紺会  
総代の木村です。  
まずは例年、藤崎  
八幡宮秋季例大祭  
での奉納において  
は、関係者の方々に多大なるご支援と  
ご協力を賜り、心より御礼申し上げま  
す。

「祭りが終わると秋が訪れる」。昔か  
ら熊本県民が感じていたように、祭り  
が終わると不思議なほど急に朝の空気が  
冷ややかになる。奉納を無事に終え  
た安堵感とそんな季節の変わり目の風  
を感じる事が心地よく、またそれが日  
常にも力をくれる。そして気づけばま  
た次の年の祭りがやってくる。この古  
くから受け継がれてきた熊本の文化・  
風習の繰り返し、熊本県民に大切な  
意味や価値、そして1年の力をもたら  
し、熊本の発展を担うものだと考えて  
おり、毎年その一役を担えることに心  
から喜びを感じます。

しかしながら昨年、新型コロナウイルス  
感染拡大により祭りの開催中止を  
余儀なくされ、その猛威が治まること  
なく今年も中止が決定したことを心か  
ら残念に思っております。

そして昨年7月に人吉を襲った熊本  
豪雨。5年前の熊本地震の傷も癒えぬ  
まま、傷ついた熊本は今、まさに手  
取り合って力を合わせ、前を向いて長

く険しい復興の道を歩んでいかなけれ  
ばなりません。

そんな中だからこそ、私は祭りを開  
催したいという想いを強く抱いていま  
す。祭りという形で受け継がれてきた  
熊本の絆や想いが生み出す力を、復興  
へ向かって歩む推進力に変えるべく、  
来年こそは祭りが無事に開催できるよ  
う願うばかりです。そして再び集うそ  
の時まで、紫紺の「心粋」を繋ぐこ  
とが私の使命だと考えています。

同窓生の皆様、開催が決定した折に  
は、前回を超える多くの方々には是非と  
もご参加いただき、世代の垣根を超  
え、同窓生の力で熊本を盛り上げてい  
きましょう。

末筆ながら皆様のご多幸とご健勝を  
心よりお祈りいたします。



## いつかの隊長の決意をもつて

矢田 琢磨 (43期)

本当ならば、昨年43代隊長を務めるはずだっ  
た矢田琢磨です。

昨年、新型コロナウイルス感染拡大の影響か  
ら開催が中止になったため、一昨年に副担当期  
の時から心待ちにしていた隊長としての大舞台  
を踏むことができず、集まってくれるはずだっ  
た同級生と一緒に肩を落としました。同時に、  
生業の飲食店経営に大きなダメージがあり、必  
死に耐える毎日を今もお過ごしております。

そんな中、紫紺会で繋がった先輩後輩からご  
支援やご心配の声をいただき心から感謝してお  
ります。感染が終息し街が賑わいを取り戻すこ  
とと祭りの開催は切っても切り離せません。早  
く元気な熊本に戻り、隊長を務める決意をした  
想いや力を発揮できるよう、開催の吉報を心待  
ちにしています。

同期の皆さん、開催が決定したら祭りで一緒  
に盛り上がりましょう！



新型コロナウイルス感染症の早期終息を願いながら、  
開催の折りは皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2022年3月期 収支予算案 2021年4月1日～2022年3月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	1,000	1,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
②受取入金	4,080,000	4,080,000	0
入金収入	4,080,000	4,080,000	0
③受取会費	5,000,000	2,500,000	2,500,000
年会費収入	2,500,000	2,500,000	0
終身会費収入	2,500,000	0	2,500,000
④事業収益	4,700,000	4,050,000	650,000
懇親会費(大同窓会)	2,800,000	2,800,000	0
懇親会費(歳祝いの会)	1,700,000	1,050,000	650,000
現役部活動助成(事業活動委員会)			
事業収入(事業活動)			
広告収入	200,000	200,000	0
⑤補助金等収入	0	0	0
受取寄付金			
補助金等			
事業活動収入計	13,781,000	10,631,000	3,150,000
2 事業活動支出			
①事業費	8,000,000	6,880,000	1,120,000
広報・情報委員会	2,500,000	2,000,000	500,000
事業活動委員会			
大同窓会	2,600,000	2,600,000	0
歳祝いの会	1,800,000	1,150,000	650,000
青年部委員会	200,000	200,000	0
財務委員会	100,000	30,000	70,000
飾り馬奉納支援金		100,000	△ 100,000
紫紺経済同友会	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	100,000	100,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	0
②会議費	100,000	250,000	△ 150,000
総会費	50,000	200,000	△ 150,000
代表幹事会費	50,000	50,000	0
③管理費	1,458,000	1,640,000	△ 182,000
事務局費	1,168,000	700,000	468,000
事務局要員費	0	300,000	△ 300,000
学年同窓会開催支援金	100,000	300,000	△ 200,000
会員名簿委託管理料	0	0	0
新聞広告費	50,000	50,000	0
旅費交通費	50,000	200,000	△ 150,000
慶弔費	60,000	60,000	0
雑費	30,000	30,000	0
事業活動支出計	9,558,000	8,770,000	788,000
事業活動収支差額	4,223,000	1,861,000	2,362,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産(指定正味財産)の取得			
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)		600,000	△ 600,000
記念事業引当資産繰入(定期預金)	500,000	500,000	0
投資活動支出計	500,000	1,100,000	△ 600,000
投資活動収支差額	△ 500,000	△ 1,100,000	600,000
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 予備費支出			
予備費			
当期収支差額	3,723,000	761,000	2,962,000
前期繰越収支差額	14,809,452	13,604,657	1,204,795
次期繰越収支差額	18,532,452	14,809,452	3,723,000

\*3ヶ月の変則決算の為、次年度に予定している予算額を参考値として掲載しています。

紫紺会 令和4年3月期 事業計画 (2021年4月～2022年3月)

月 日 曜	行 事	場 所	時 間	主 な 内 容 等	担 当
4	紫紺経済同友会役員会				経済同友会委員会
14 水	役員会	オンライン会議	19:00～20:00	年祝いの会、通常総会について	事務局
12 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	新型コロナウイルス感染防止の為、中止	代表幹事会
26 水	決算・会計監査	紫紺会事務局	19:00～20:30		財務委員会
9 水	役員会	オンライン会議	19:00～20:00		事務局
26 土	通常総会	ANAクラウンプラザホテル熊本ユースカイ	17:00～18:00	新型コロナウイルス感染防止の為、中止(書面決議実施)	事務局
	紫紺年祝いの会	*	18:00～20:00	新型コロナウイルス感染防止の為、延期	事業活動委員会
7	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	新型コロナウイルス感染防止の為、中止	代表幹事会
	紫紺経済同友会総会・年祝いの会	松屋本館	18:00～21:00		経済同友会委員会
	校舎内窓清掃運動	高校		新型コロナウイルス感染防止の為、中止	青年部
18 水	役員会	事務局別館	19:00～20:00	新型コロナウイルス感染防止の為、中止	事務局
	青年部若手交流会			新型コロナウイルス感染防止の為、中止	青年部
	五校合同経済同友会スポーツ例会			新型コロナウイルス感染防止の為、中止	経済同友会委員会
8 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	新型コロナウイルス感染防止の為、中止	代表幹事会
11 土	紫紺年祝いの会			該当期の方々は手取神社にて祈禱	事業活動委員会
9	飾り馬 慰問			新型コロナウイルス感染防止の為、中止	飾り馬奉納実行委員会
	飾り卸	藤崎八幡宮		新型コロナウイルス感染防止の為、中止	飾り馬奉納実行委員会
	藤崎宮秋季例大祭	藤崎八幡宮		新型コロナウイルス感染防止の為、中止	飾り馬奉納実行委員会
13 水	役員会	事務局別館	19:00～20:00		事務局
	五校合同経済同友会例会				経済同友会委員会
11 10 水	100%代表幹事会・懇親会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
	代表幹事会懇親会				〃
	経済同友会役員会・忘年会				経済同友会委員会
12 9 水	役員会				代表幹事会・事務局
	クリスマスプレゼント贈呈式	事務局別館	19:00～21:00		青年部
3 月	20歳の同窓会	大江学園		入所者に対してお菓子のプレゼント	青年部
1 12 水	代表幹事会			成人式を迎える期の同窓会を支援する	代表幹事会
	新春大同窓会	パレオ会議室	19:00～20:00	新春大同窓会・総会資料等	事業活動委員
	東京紫紺会総会・交流会	ホテル日航熊本	19:00～21:00	年頭のご挨拶、奨励賞授与	東京紫紺会
2 9 水	役員会	事務局別館	19:00～20:00		事務局
	学園大付属高校奨励賞授与式	ANAクラウンプラザホテル熊本ユースカイ		令和2年度の優れた善行を行った生徒の表彰	経済同友会委員会
2 水	紫紺会入会式	高校体育館		62期生の入会式	事務局・広報委員会
3 3 木	学園大付属高等学校卒業式	高校体育館			会長
10 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	代表幹事への委嘱状授与式他	代表幹事会

会費納入のお願い

同窓会活動は長きにわたり活発に展開されています。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の振込用紙にて、郵便局または振込用紙裏に記入してあるコンビニエンスストアでご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549  
熊本学園大学付属中学高等学校同窓会紫紺会

編集後記

同窓会報「紫紺」の発行も今回で31回目となりました。発行にあたりご協力いただきました同窓生や高校関係者の皆さまに心から感謝を申し上げます。会期の変更に伴い発行時期が3月から9月となり、初刊となる本号は前号の発刊から1年半の活動を報告するものとなります。しかしながら、制作にあたっては、皆さまご存じの通り、新型コロナウイルスの蔓延で諸活動が制限され、本会を含め多くの支部・部会が思うように活動できず、記事の収集に困難を来しました。そこで、本号ではこれまでと異なる記事として「入試合格者情報」やコロナ禍でも頑張る後輩生たちの様子を向うことで、私たちに元気を伝えてもらいたいと「現役生部活動報告」などを掲載させていただきました。また、広報・情報委員会では紫紺会のホームページやフェイスブック・インスタグラムを通じ、会の活動をリアルタイムに発信しており、これらの広報活動が、同窓会に参加されたことのない方が参加する一つの契機になればと考えています。今後も会における最前線の情報発信を通して、同窓生の方々のお役に立てるよう努めて参りますので、皆さまのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。(勇)